

選挙人名簿抄本の閲覧状況の公表

公職選挙法の規定により、各市区町村選挙管理委員会は、毎年少なくとも1回、選挙人名簿抄本の閲覧状況について公表することとなっています。
平成24年度中の選挙人名簿の抄本の閲覧申出者は次のとおりです。

問選挙管理委員会(総務課) ☎84-0310

●閲覧できる場合

- ①特定の者が選挙人名簿に登録された者であるかどうか確認するために閲覧する場合
- ②公職の候補者等、政党その他の政治団体が政治活動・選挙運動を行うために閲覧する場合
- ③統計調査、世論調査、学術研究その他の調査研究で公益性が高いと認められるもののうち政治・選挙に関するものを実施するために閲覧する場合

●選挙人名簿抄本の閲覧状況

期間中の選挙人名簿抄本の閲覧は、ありませんでした。

●在外選挙人名簿抄本の閲覧状況

期間中の在外選挙人名簿抄本の閲覧は、ありませんでした。

情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

情報公開制度と個人情報保護制度の運用状況をお知らせします。

問総務課 ☎84-0310

●平成24年度の情報公開制度運用状況

区 分	全部公開	一部公開	非公開	その他	合 計
公文書公開請求	17件	16件	0件	0件	33件

●平成24年度の個人情報保護制度運用状況

開示請求件数	訂正請求件数	是正の申出	合 計
1件	0件	0件	1件

●情報公開制度とは

町が持っている情報を皆さんからの請求に応じて公開する制度です。公開請求された情報は原則として公開しますが、個人に関する情報など条例で定める非公開情報は公開できないことがあります。

公開請求をする場合は公開請求書の提出が必要となります。

●個人情報保護制度とは

町が持っている個人情報を適正に取り扱うためのルールを定めるとともに、本人からの請求に応じて自己情報の開示や訂正などを行う制度です。個人情報を取り扱う町の事務については、事務の名称などを記載した登録簿を作成していますので、閲覧することができます。

開示請求をする場合には開示請求書の提出が必要となります。

子育てウレポイント

問 保険健康課 ☎84-0327

Q 2歳を過ぎました。いつごろからおむつはずしを進めたらよいでしょうか？

A 夏は薄着なので着替えやすく、汗をよくかくのでおしっこの量が少なくなり、排せつのしつけをしやすい時期です。お子さんのおしっこの間隔が1時間半か2時間くらい空き、言葉がある程度理解でき、片言で話せるようになることを目安にして始めてみましょう。お子さんの様子をよく見て、排せつのサイン（もじもじして落ち着かない、ズボンに指をかけて下ろそうとするなど）がわかると、トイレに誘うタイミングがつかみやすくなります。

お子さんが排せつのサインを出したときや朝起きたとき、外出前・就寝前などおむつを換えるときはトイレに誘ってみましょう。



排せつのしつけは、個人差がとて大きいです。他の子と比べたりせず、うまくできたときはたくさんほめてあげ、ゆっくり、根気強く取り組んでください。
うまく先に進まないときは、保健師にご相談ください。お話を聞きながら、お子さんに合った方法を一緒に探していきます。

園 長先生、おはようございます「通園バスから降りてくる子どもたちの元気なあいさつで開成幼稚園の一日が始まります。

私 が幼稚園教諭となつて初めて現場に立ったのが、ここ開成幼稚園でした。以後、一度職場を離れ、昨年から幼児教育指導専門員として再度開成幼稚園とかかわりを持ち今年で二年目となります。

今 年の入園式の日、「ひとみ先生！」と声をかけてくれたかつての教え子M君、「私のこと覚えていますか？」と話しかけてくれたSさん、こ

4 月、園庭や保育室から聞こえてきた新入園の子どもたちの泣き声も5月の連休を過ぎるころにはようやく消え、少しずつ園生活にも慣れ自分の好きな遊びを見つけて遊び出す姿が見られるようになってきました。

し かし、こんな子どもの姿も…。おもちゃの取り合いで相手をたたいてしまう子。



友達が遊んでいるおもちゃを何も言わずにだまって使おうとする子。滑り台で滑り終わると並ばずに、すぐまた滑ろうとする子。そんなとき、教師は「〇ちゃん、これが使いたかったのね」「滑り台楽しいね。でも、1回滑ったら並ばうね、みんなも並んで待ってる。」と子どもの

気持ちに寄り添い働きかけていきます。
うして子どもたちは、「貸して」「順番だよ」「交代して」「入れて」といったことばを使って、友達と遊びを継続していく楽しさを発見し、遊びをおもしろくしていくために、いろいろなことばがあることを知っていきます。と同時にルールを守る力を少しずつ身につけていくのです。すぐに相手をたたいたり、力づくで奪い取ろうとしたりしないで、自分の要求をことばで表現する力を身につけることは、同時に相手の気持ちを理解する力を育んでいくことなのです。

子どもたちは園生活を通して人との付き合い方を学び、コミュニケーション能力を身に付け、様々な体験をしながら集団生活の一員としての人とかかわり方を学んでいきます。その人生経験4～5年の子どもが、これはもう、とてつもなく大きな事をしていくのです。これからも仲間と遊ぶ楽しい経験がたくさん積み重ねられるように、子どもたちの仲間作りを見守り、援助していきたいと思っています。

ポーズも決まって、ダンス楽しいね！